

# ひめだ高広ニッポン

NO.1147

17.4.10

日本共産党 和歌山市委員

## 2月定例会議会報告

前号「フツのムタ」で共謀罪に抗議して桜が咲いてないを描いたら、あれまあ一気に満開に。あれはやはり私の妄想でした。今週は、市役所に来る途中のお堀端で、お花見が楽しめます。今号は長期総合計画における基本計画について報告します。

## 市政の到達点の分析がない

2月定例会議会で議決された第5次和歌山市長期総合計画は、2017～2026年度の10年間の計画。基本構想で、めざすべき将来像を「まっすぐ輝く元気な和歌山市」と定め、人口減

少や少子高齢化といった課題を克服するため、活力あふれた住みたいまちとして選ばれる和歌山市を形成することを目指し、4つの分野別に目標を定めることにも、目標実現に向けたための

政府を掲げ、基本計画では政策を別の施策に具体化した形になっています。施策として、その取組

方針と、まちづくり指標(基準値と目標値)が掲げられ、市民・地域・NPO、事業者の役割を列挙。その施策のうち10の施策のまちづくり指標に市民世論調査の市民満足度が使われています。

たとえば、地域医療・健康危機管理体制の充実の項では、めざすべき10年後の姿として、必要な時に適切な良質な医療を提供でき、安心して暮らしていること。取組方針は、①周産期医療体制の充実、②安心安全な

医療体制の構築、③救急医療体制の充実、④危機管理体制の充実を掲げ、まちづくり指標に、医療・保健サービスに満足している市民の割合(市民世論調査)として、基準値(2015年

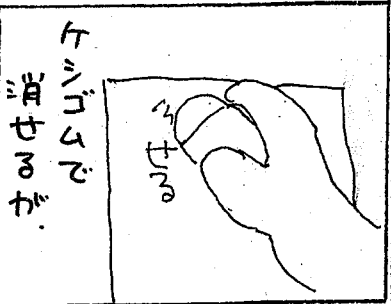
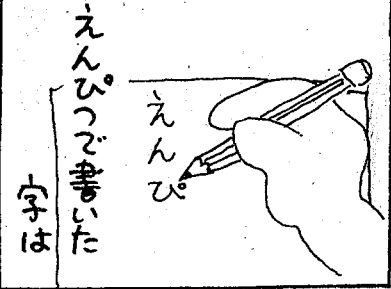
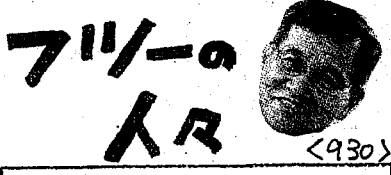
度)31.2%、目標値(2026年度)57.6%としています。31.2%の満足度の中身をみただけのまじいことになって

## 今週のフツのムタ (2019)

口にした言葉は消せない

今村復興大臣が福島原発事故で放射能汚染の影響を心配した自主避難者に対し自己責任で、文句があるなら裁判をすればいいと暴言を吐き、後日、撤回・謝罪しました。原発事故の責任は安全神話と垂れ流しながら原発を進めたまた国と東電にあることは明らかです。自主とは、他人の保護や干渉を受けず、独立して行うことで、自主的に

は、他から干渉などを受けないで、自分で決定して事を行うさまと広辞苑は書いています。ということとは「自主避難」という言葉使いが間違っているわけですね。その言葉じりならえて、自主的な避難だから自己責任だと言い、文句があるなら裁判でと聞き直ったのです。被災者に寄り添うところか、蹴っ飛ばし放置するアベ政権の残忍さと姑息さを証明しています。



ひめだ高広

いるのか。それを57.6%に引き上げるためには、市がこれまで取り組んできた施策をどのように充実させるのか。それとも新たな別の施策が必要だと考えているのか。このことが基本計画であると思いいの施策について、その点を質問しました。市の考え方を聞くことがあったんではないかと聞きました。

31.2%の満足度の中には、市の施策に賛同がない

## 社会保障充実の中身は適正化

社会保障制度の充実という項では、めざす10年後の姿として、市民が必死な社会保険・公的扶助のサービスを適正に受ける環境を整っていること。取組方針では、①生活困窮者自立支援制度及び生活保護制度の適

分に分けて、市民が求める方向を見きり、施策を打ち出すことが必要ではないでしょうか。

正な実施、②介護保険制度の適正な運営、③国民年金制度の改修、④国民健康保険制度の適正な運営と4つの方針の3つまで「適正化」を掲げています。

社会保障は「いままでも、適正化」の名のもとに負

## 日本共産党がシリア攻撃を非難

シリア北部での化学兵器による攻撃による死者は、はじめ多数の死者が出たとの報道を受け、米トランプ政権は日本時間7日、シリア中部の空軍基

地へ59発のミサイルを撃ち込みました。国連安保理の決議もない国際法違反の攻撃は、シリアの化学兵器問題の解決につながらず、同国の6年に及び内戦の終結をさらに遠のかせると懸念されています。

米国はミサイル攻撃の前、英仏とともに国連安保理に提出した決議案の中で、シ

シリアでの化学兵器使用の責任者の特定と処罰を求め、化学兵器禁止機関と国連による調査を提起し、軍事制裁の言及についても、安倍首相は「いち早くトランプ政権の『決意』を支持する」と表明。

米国追従の極みで、内戦悪化をもたらす例に日本政府を立たせるものです。

## 基本計画策定前に推進発表

これまで作られた長期総合計画を振り返ると、計画が進められたものも計画が進まなかったものもあり、時の市長が「食い食い」に、都合のいいものだけを取り出して進める、場合によっては計画にまったく盛り込まれていないものが突然進められたこともありました。

今回の基本計画の策定で、観客受け入れ態勢の整備

障の充実とみるのかとの質問に担当者は、社会保障は国の制度だからと「リンク」の発弁。その気持です。

この項の取組方針③観光資源の魅力向上の中に、「統合型リゾート（IR）」の誘致の検討を進めます」と書かれています。協議の中で当局は、「IRの是非をめぐって検討する」と述べました。この点、市では「この基本計画の議決を待たずに、2月市議会開会前に、統合型リゾート（IR）（カジノ）施設の誘致を決定したと発表したのは、不思議?!」

## 息子を虐殺された母の無念

4月9日(日)日(興文ホト)で自身の『ぶい渡の映画「母」(原作・三浦綾子、監督・山田火砂子)を見ました。小林多喜二と母セキさんの話です。1974

年に山本庄三演、今井正監督の映画「小林多喜二」で多喜二の住み方について、日本共産党に入党した私にとっても、セキさんは特別な存在なのです。